

校長便り 自律



県立南風原高校
& 高等支援学校

平成30年 7月11日 (水)
校長 辻上 弘子
第 7 号

期末考査が終わると そろそろ1学期のまとめの時期となります

結構ハードな3日間の期末考査が終了。一番身近な応援団としてご家庭での激励を有り難うございました。今後とも継続して激励、見守りをお願いします。

7日(土) PTA 親睦ソフトバレー 大盛況でございました

七夕の日10時開始。「ナイスサーブ」「ドンマイどんまい」とかけ声は真剣でありながらも、笑いの絶えないプレーを楽しみ、ママさんバレーで日夜鍛錬中の凄技&美技を目にすることもできました。女子バレー部の参加もあり4チーム総当たり戦で、しかも最下位は罰ゲームありという妖しげな趣向をこらしたPTA行事に大盛り上がり。多数のご参加を有り難うございました。

「そこに愛はありますか」まばたきするのも忘れて聞き入りました

10日(火) 1・2校時は体育館にて校内弁論大会。最後にインパクトある言葉を残した3年6組上原光君が最優秀賞をもぎ取りました。9名の弁士がDV、いじめ、差別、道徳、無料通話アプリの使い方、等々意見披露を致しました。実に見事でありました。「世の中に星の数ほどある家族なのに」と印象的な語り口で始まった弁論もあり、ステージの先に広がる世界を見たような気がしました。マイクの使い方、声の大きさ、表情どれをとっても一体誰に習ってきたのかというくらい、短期間で仕上げてきた彼らはそれぞれに自信に満ちておりましたし、聴衆のその聞く態度は、温かく応援の気持ちのこもったものでした。国語科による講評では「若者らしく将来の行動にまで話を深めていた所がよかった」等、その内容や所作についてのコメントがありました。緊張感に包まれながらも、千人近い生徒の前で堂々と意見発表をした弁士たちと、礼儀正しく耳を傾けた聴衆とで会場がきれいに融合した感じで、しばし暑さを忘れるアカデミックな雰囲気、漂いつつ生徒の成長と指導の確かさを喜びました。

